

.....
イスラエルのテルアビブから、こんばんは。アメリカは朝、アジアは夜ですが。現在、シリアのアレッポ、パルミラ、それからもちろん、イラクのモスルで起こっている大変恐ろしい状況について、アップデートする必要を感じました。それから、中央アジアでは数日前、ネタニヤフ首相が訪問した、いくつかのイスラム国家とイスラエルの間で面白い進展がありました。

さて、まずはアレッポから始めます。そこで起こっていることは「大虐殺」以外に当てはまる言葉が見つかりません。アレッポはシリア最大の都市ですが、ロシア軍（ほとんどが空軍で、いくつかの特殊部隊もある）が侵入しているだけでなく、レバノンからヒズボラ（イランの代理）のテロリスト、はるかイランからイラン兵（Quasem Soleimani 軍司令官は、Al-Quds の司令官でもあり、イランの最高レベルの司令官です）、それからバシール・アサド軍も入って来ています。つまりアレッポ市内にはイラン、ロシア、レバノンが全ており、「バシール・アサドには、自国でテロリストと戦う権利がある」と主張しているのです。興味深いことに、アレッポにはシリアの人々がいるのに、そこにいるよそ者が「シリア政権は『彼の国を侵略している』テロと戦っている」と「正当化」しているのです。

次に、私たちは非常に恐ろしい証言を耳にしています。それは人々の大虐殺で、イランとロシアが空から、ヒズボラが陸で行っているものです。女性や子ども達が逃げ惑う中、殺戮が繰り広げられています。昨日聞いた情報では、20人の女性たちが、兵士たちによる集団レイプから逃れるため、集団自決を計ったということです。彼女たちは、友人たちが兵士たちによってレイプされるのを見てきたのです。そして、自分の身にそんなことがあってはならない、そんな事をされるなら死んだ方がましだ、と20人一緒になって集団で自殺したのです。また、孤児院の子どもたち全員が「まだ生きているうちに避難させてください」と全世界に懇願していました。イスラエル人として、またユダヤ人として、私たちの心は引き裂かれています。そして私は、世界中のイスラム教界はどのように考えているのだろうかと思うのです。きっと彼らの心も痛んでいるはずだと思います。私はアレッポの人々のために祈っています。そして問題は、過去数年間におけるバシール・アサドとロシアによるシリアでの活動について、最大の欺きを見ました。全世界は、ロシアがISISと戦うためにシリア入りしたのだと聞かされています。しかし、実際は、ISISはやりたい放題をしていて、ロシアが戦っている相手はISISではありません。彼らはスンニ派の反政府軍・シリア人と戦っているのです。シリアに入っているロシア軍は、ISISには興味がなく、彼らにとってISISは問題ではありません。ISISも彼らの邪魔にはなるでしょうが、彼らの最大の関心事はバシール・アサド政権の安定です。信じがたいかもしれませんが、アサドにとってISISはパートナーであり、取引相手なのです。皆さん、ご存じかどうかはわかりませんが、バシール・アサドはISISから石油を買いました。それからさらに、アサドはISISと取引をして、彼が使用中の空軍基地等、戦略地域を攻撃しなければ、ISISにはある地域である程度の支配を許しているのです。

このように、全員が全員を欺く様は驚愕です。中東において、ISISは問題ではないのです。と言うと、こんな風に言う人がいるでしょう。

「ちょっと待って！ ISIS も人々を惨殺しているでしょう？」

言っておきますが、私は ISIS を支持していませんし、彼らはとんでもなくサタンの的で、極悪非道だと思っています。それでも言わせてもらおうと、ISIS が殺した人数は、ロシアが殺した人数よりも、今イランがアレッポで、ヒズボラが現在殺している人数よりも少ないのです。事実を明確にしておく、ISIS がよく知られているのは、彼らがソーシャルメディアを利用するためです。メディアに見えない所で、現在何が行われているかと言うと、それは ISIS がしていることの何十倍も野蛮な行為です。もちろん、ISIS がしていること、人を虐殺するやり方は野蛮ですよ。それでも ISIS がそれらを行っているのは、今現在ロシアやイラン、ヒズボラ、レバノンが、アレッポやその他の場所で行っていることに比べれば、はるかに小さな規模なのです。通常行われているのは、—それは現在、イラクのモスルでも行われていますが—まず包囲網から始まって、人々を飢餓状態にし、そして市民を大量虐殺していくのです。全ての場所で理解しなければならないのは、中東の問題は、中央政権と反政府軍間のもではなく、これは、スンニ派、シーア派、また異なる部族間の敵対なのです。ですから、最大都市アレッポは、バシヤール・アサドが大勝利を収めたように描かれていますが、言わせてもらおうと、アサドはシリアのわずか 10~15% しか支配していないのです。今シリアは、もうほとんど存在していません。現在起こっていることは、大きく煙に巻かれています。そこで、前にも言いましたが、もう一度皆さんに警告します。どうか、見せかけに騙されないようにしてください。シリア国内では、もう対立が終わったか、あるいは終わりが近づいたかに見えています。しかし、実際には、シリアで現在起こっていることは、さらに激化しているのです。アレッポで敗北を喫した反政府軍が、ダマスカスを支配しようとし、非常に危険な武器を入手して、どうにか政権を終わらせようとしています。しかし、それに関しては、イスラエルが許しません。その武器はいずれイスラエルに向けられるからです。

ということで、皆さんにご理解いただきたいのは、現在進行中の事は、バシヤール・アサド軍に関する虚構のイメージです。世界は別の町の解放についてもまた騙されています。数か月前、パルミラの町が解放されたと報じられ、その後パルミラの町でコンサートが開催され、皆「ISIS は敗北した」と言いました。しかし、現実には、パルミラで行われたことは、バシヤール・アサドが全権を掌握し、全てが順調である、とロシアに約束したのは、ただの見せかけでした。しかし、私たちが見た写真の兵士は、戦闘兵ではなく、年寄りが煙草を吸いながら笑っていて、血生臭い戦争とは別世界で、写真の中の負傷した兵士は、実際には怪我もしていませんでした。ロシア政府のネットワークが独占的に受け取った写真以外でも、数か月前（2016 年 3 月）のパルミラ解放のすべての写真は、舞台設定されたものでした。しかし全世界は、

「良かった！」

「パルミラは解放されたんだ！」

「全てが素晴らしい！」

と言い、ロシアはマリインスキー劇場（ロシア・サンクトペテルブルクにある、オペラとバレエの専用劇場。ソ連時代は「キーロフ劇場」と呼ばれた）の大きなオーケストラを送り込みました。2008 年にロシアがジョージア（旧グルジア：南オセチア紛争）の軍を負かした時も、同じオーケストラが国会の前で演奏したのです。つまりこれは、ロシアの勝利を飾る移動オーケストラなのです。繰り返しますが、ロシアはシリア政権が ISIS と取引していることは知らないのです。そして、シリアはロシアに

「その地域については、全てが順調だから、意識しなくても良い」と思わせ、

オバマ政権も「ISIS は敗北して、全てがうまく行っている」と思っています。転換点は、数か月前にイランが、イラク国会に、ある集団（ハシャド・シャービ）の上層部を加えるよう決断しろと強要した時——その集団というのは、一般の民兵、一般大衆の集まりで——彼らはシーア派の殺し屋、人々を狂氣的に殺害する民兵なのです。そして今は、イラク軍が完全にシーア派色に染まり、シーア派の性質が強まったために、イラク軍内の全スンニ派兵士が離脱し始めています。明確にすると、オバマ、アメリカが、サダム・フセイン崩壊後イラク軍解体を決断した時——実際には、オバマ以前ですが——それが最大の間違いでした。なぜなら、自分たちの生活を守ろうとする全ての軍司令官は、イラク内の自分の領域で形成されつつある新興大国を見つけました。それが ISIS です。ISIS は現在、最も知能的で洗練された軍隊の一つなのです。それは ISIS が元イラク軍司令官たちと高い地位にあった将校たちで形成されているからです。彼らは森から飛び出してきた髭面のチンピラ集団ではありません。つまり元々は、イラク軍の一部であった非常に洗練された軍司令官たちが、新しいタイプの軍隊の仕事を見つけたというわけです。彼らは ISIS には加わっていませんが、ISIS は彼らにカネと権力を与えています。そして今、ISIS は中東の誰よりも知能的な戦闘を繰り広げているのです。ですから、数か月前にパルミラが解放された時、誰もが「ISIS は敗北して逃げ去った」と思ったことでしょう。メディアまでもが、アメリカ陣営に「これが実際に起こった」と伝えました。しかし、実際には、ISIS はバシール・アサドやロシアまでも欺いています。そして先週木曜日（2016年12月8日）、ISIS はパルミラに大規模な攻撃を開始しました。砂漠の真ん中で待機していた数百人の兵士が、それぞれ別方向から出現して、そこにいたバシール・アサド軍の兵士全員を惨殺したのです。そして、アサドがヒズボラに助けを求め、ヒズボラから護衛が送られましたが、彼らも ISIS によって殲滅させられました。ISIS からの解放劇は全て崩れ落ち、倒壊しました。先ほども言いましたが、アサドはシリア全土のわずか 10~15%ほどしか支配していません。ですから、私はアサドがシリアを解放して、元の状態に戻すとは考えていません。

そういうわけで、現在、パルミラの人々がどのようにその代価を支払っているか——つまり、土曜日（12月10日）に町の中心が ISIS の手に墜ち、そこにいたシリア政府軍属全員を惨殺している——1700万人いるシリア国内のスンニ派は今、行き詰っていると行って良いでしょう。そこで何が繰り広げられているかと言えば、破滅させようとする彼らの戦いが何の成果も出しておらず、つまりシーア派イランが幅を利かせて、スンニ派はまだそこに留まっているので、行き詰っています。そして ISIS は、パルミラを占拠した瞬間から石油を汲み出し始め、その地域を中立化させ、シリア空軍基地バシール・アサドの T4（ティヤス空軍基地）で行っていたことを全て停止させました。現在、シリアで起こっていることは滅茶苦茶で、大変悲惨です。このように、残念ながら、人々の虐殺が今、シリア・アレッポで行われており、同じようにイラク・モスルでも大虐殺が起っています。その町の過半数で、スンニ派を破滅させているシーア派が今、全く同じことをしているのです。

というわけで、スンニ派とシーア派の対立がイスラム界を弱体化させているのです。そして、これら全ての事から、ベンジャミン・ネタニヤフ首相は、アゼルバイジャンとカザフスタン訪問で成果を収めました。カザフスタンはご存じの通り、世界で9番目に面積が大きい国です。これは西ヨーロッパの大きさにほぼ匹敵します。そして、その収入源の 70~80%は石油とガスの資源です。現在、イスラエルの企業が招かれており、私たちはカザフスタンのガス・石油産業を発展させるだけでなく、提携して、我々の持つ

ているものを提供しようとしています。我々は、彼らが資源を採掘し、精製して販売できるように手助けしたいと思っています。これら全ての出来事が、ウラジミール・プーチンの目の前で起こっています。フォーブズ誌はプーチンを「世界で最も力を持つ人物」として発表しましたが、実際その通りです。イスラエルの首相は、カザフスタンの首相に、この見返りとして国連でイスラエルを支持するように要請しました。それに関しては、すでにお伝えした通り、イスラエルは国連での立場を強化するために、アフリカ、それから現在アジアを探索中です。次に皆さんから頂いた質問の一つに、「エゼキエルは戦争について語っているが、イスラエルがイスラム界での支持を拡大しているというのは、どういうことですか？」というのがありました。これがまさに、その通りのことなのです。多くの方はエゼキエル戦争を、「汎イスラム主義」がイスラエルに仕掛ける戦争だと考えていますが、それは違います。エゼキエルはイスラエルに攻め込んでくる4つのイスラム諸国を明確に記しています。トルコ（ベテ・トガルマ）、イラン（ペルシャ）、リビア（プテ）、スーダン（クシュ）以上です。もちろん、ロシアがその攻撃を指揮しますが、ロシアは全く別の方面から攻撃し、彼らの目的はガスと石油です。彼らは、スンニ派も、シーア派も、ユダヤ人も、イスラムの対立にも、全く興味がありません。ですから、間違っただけではありません。エゼキエル戦争は限定された戦争で、いくつかのイスラム諸国からは非難されるのです。

明確にすると、エゼキエル戦争は大半のイスラム国家を除いて、限定されたイスラム諸国によるイスラエル攻撃です。皆さんが目にして通り、中東で現在起こっていることによって、イスラム国家がどんどんイスラエルと親しくなっています。唯一、イスラエルだけが、彼らにとってつまずきとならず、貢献することが出来るからです。たくさんの質問を受けていますので、来週あたりに Q&A を予定しています。それから私は現在、新年に向けてのメッセージを準備中です。昨年（2015年）の年末、2016年を迎える直前に、主が私の心に語られたのが、「2016年は患難の年なるため、それに備えよ」ということでした。そしてその通り、2016年は様々な患難が起きました。テロ攻撃から、疫病、自然災害、大統領選、世界中の政治的混迷は信じられないほどでしたし、シリア国内のイスラム界の不安定、この一年は、世界がこれまでに経験したことのない、最も驚愕の年でした。

今回、神が私の心に語られたのは、何というか、私にもどうして良いのか、はっきりと分からないのですが、…主が何度も何度も、どんどん強く私を導かれるのが、黙示録 22:17

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

（黙示録 22:17）

とても面白いと思うのは、イエスは、主が来て私達を迎え入れた後は、絶対に私達から離れないと、約束されたのです。私達は、再び主から離れることは絶対の絶対にはないのです。ですから、花嫁の霊、御霊も花嫁も、我々教会、我々信徒が、主に「来てください」と呼びかける時というのは唯一、私たちが未だ主と共におらず、主が来られる備えが出来た時だけ。それはもちろん、教会の携挙です。そして、私たちが主に「来てください」と言わなければならないとは、面白いと思いませんか？

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

（黙示録 22:17）

そして私は考えていたのです。神が何度も何度も言われたのが、神は私たちが準備が整っているだけでなく、「来てください」と言うことも待っておられると。私はそれに関して、考えていたのですが、聖書の至るところで神は、神の子どもたちが求め、嘆願したとき、とても喜ばれるのです。主は私たちの考えていることはご存じで、私たちの頭の中を駆け巡っている内容を知っておられます。それでも、私たちが言葉にして伝えることを、主は望んでおられます。主は、私たちが自分の必要を認識することを望んでおられます。私たちが主に「来てほしい」と思っていることを認識させたいのです。私から見れば、時間的に主が戻って来られるには正しい時期に思えます。しかし、私たちには、心から主を呼び求め「来てください！」と言えるでしょうか？ 私たちは主に「来てください！」と言う準備が来ているのでしょうか？ 花婿に「よし、行こう！」と思わせるくらいに、花嫁に準備が来ているか、否か？ どれほどのクリスチャンが、イエスが来られる準備が整っていないか、彼らはこの世を楽しんでいます。世界は準備が整っています。しかし残念ながら、世的な信徒、世的なクリスチャンたちがあまりに多すぎます。私の祈りは、これに関しても、旧約・新約聖書の中から多くのたとえを用いてメッセージを用意していますが、神は私たちがただ受け身でいるのではなく、積極的に「来てください！」と言うことを願っておられるのです。今年も終わりが近づくにあたって、今が我々教会にとってその時だと思ふのです。世界情勢ではなく——世界情勢はもう、最終局面を迎えていますから——今回は花嫁として、私たちの番です。準備を整え、主に「来てください！」と言うのです。2017年はこのメッセージに集中して、世界中で伝えていきます。2017年、私は12~13ヶ国を訪問し、携挙と終わりの時について話します。そして、人々にただ準備を整えるだけでなく、言葉にして積極的に主に「来てください！」と言うようにと伝えます。これが我々のすべきことです。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

とても美しく、とても大切なことです。私たちにはそれが重要です。

それから、どうか皆さん、ニュースレターに登録してください。Facebook アカウントをお持ちでない方もたくさんいらっしゃいますが、そういう方はウェブサイトからご登録していただくことができます。Behold Israel.org から E メールアドレスを入れて登録するだけで、毎週木曜日にニュースレターが届きます。それから Behold Israel のアプリもぜひダウンロードしてください。何かが起こった時や、ライブメッセージや Q&A の日程が決まった時にアラームでお知らせします。その他の情報やブログ、全ての事が携帯電話で受け取れるのです。無料アプリです。また、Facebook ページ Behold Israel にも「いいね！」してください。それから、インスタグラムも Behold Israel です。あとはウェブサイトですね。これは本当に誇りに思うと胸を張って言えます。世界 194 か国からの閲覧があり、この中にはイランも含まれています。驚きはしませんが、皆さんからのお祈りに感謝します。2016年は Behold Israel にとって素晴らしい一年でした。今の時点で、アプリのダウンロード数は約 10 万です。繰り返しますが、実に様々な国の人々からの訪問がありました。神が働かれる様子は実に感動的でしたが、同時に皆さんにお伝えしたいのは、皆さんのお祈りとご支援——霊的かつ経済的支援——がなければ、私たちにはこま

で出来なかったことでしょう。今年も終わりを迎えるにあたって、私はそのことを皆さんに感謝します。

私のクリスマスメッセージに関して、多くの雑言が飛び交っていますが、残念ながら、私が受け取った否定的なコメントのほとんどの方が、メッセージを最後まで聞いていません。だから私は、反応する前にメッセージを最後までよく聞いてくださいね、と最初に言ったのです。それをせずに、メッセージの途中で攻撃しては、あまりまともなことは言えないでしょう。クリスマスに関して、祝うべきか否か？のメッセージをぜひご視聴ください。（※日本語訳はありません。）私は誰の事も裁いていませんし、実際私も義理の家族と、クリスチャンとして祝います。間違ったことを祝わず、正しいことを祝っている限り、私は、これは素晴らしいことだと思っています。

もう一つ皆さんにお伝えしたいのは、ブログで特別クリスマスメッセージを伝える予定です。といっても、異教の「クリスマス」ではなく、キリストの誕生日「クリスマス物語」で、主が生まれた日に注目します。

続けてご視聴ください。アプリをダウンロード、Facebook、Twitter、Instagram、それからウェブサイトフォローしてください。24日にはクリスマスに向けてメッセージを発信します。それから恐らく31日にも新年のメッセージを発信します。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

（黙示録 22:17）

次のQ&Aに向けて、皆さんからのご質問を受け付けています。info@beholdisrael.orgまでお送りください。また、来年のイスラエルツアーについての詳細も。若者対象や、すでにイスラエルを訪れたことのある方対象など、いくつかの特別ツアーをご用意しています。これまでにイスラエルに一度も来たことのない方向けには、来年12月に若干の空きがございます。また、2月のツアーにもいくつかキャンセルが出ていますので、ぜひお申込みください。来年のツアーも楽しいことが満載です。Behold Israelで神の御業をぜひご覧ください。

それから、どうか続けて中東についてお祈りください。シリアやイラク、レバノン、エジプト等で起こっているのは、実に心が引き裂かれる内容です。カイロのコプト主教会が爆撃され、シーア派・スンニ派・その他の闘争でこれらの人々が代償を支払っているのを見るのは、実に心が痛むことです。これらの事で代償を払っているのは、罪のない一般市民なのです。多くの方が、イスラエルがシリアを攻撃したことについて、質問してきますが、我々はシリアを攻撃していません。我々は、こちらに向けられる武器を爆撃しているのであって、市民を攻撃したり、都市に爆弾を投下したりはしません。イランからシリアに密輸されるすべての武器を、私たちは把握していて、我々は日中ではなく夜間に、ただそれらを破壊するだけです。我々が行っているのはそれだけです。それが問題だと思う人は、そちら側の問題であって、それらの武器がいずれ我々に対してしようされるのですから。先週はレバノンから密輸されている化学兵器を破壊しましたが、我々はこういったことに対しては、一切容赦しません。

先週、ある人から来たメッセージにこうありました。

「神が約束されたのは、現在のイスラエルではない。」

言っておきます。

もし、今のイスラエルが神の約束でないのなら、現イスラエルは再建したその日のうちに破壊していたでしょう。歴史家も、戦略家も、他のずば抜けた頭脳を持ついかなる人物も、誰一人としてイスラエルが存在しているという事実を説明できる者はいません。イスラム界は、我々を破壊するために仕掛けたすべての戦争で敗北し、我々は未だにここに存在しています。あなたがもし、イスラエルが神の約束ではないと思っているのなら、あなたにとって悪いニュースがあります。エレミヤ書 31:35~36 には、星、月、太陽がそこにある限り、イスラエルは主の御前に立ち、イスラエルは神の民であるとあります。星、月、太陽が消えた時、唯一その時にだけ、イスラエルはもはや神の御前に神の民ではなくなるのです。もし、あなたが現イスラエルに対して問題を抱いているのなら、聖書を読んでください。聖書を読んで理解してください。イスラエル再建について、神の約束が旧約聖書の中で成就されただけでなく、聖書預言で神が告げたことの多くが、現在成就されつつあるのです。そこで皆さんにお伝えします。我々は自分たちがなぜここにいるかを知っているだけでなく、なぜ我々がここにいるのかという理由を人々に伝えたいのです。なぜなら、神が現在のイスラエルに対して誠実であることで、神がコロコロと考えを変えるようなことをされないことが分かるのであって、もし神がイスラエルに対する考えを変えて、もはやイスラエルが神の民でないとされるなら、きっと主は、あなたに対しても考え方を変えられるでしょう。神があなたに対して誠実であられることの保障、クリスチャンに対する保険証書はイスラエルです。我々が保険証書なのです。なぜかと言うと、もし主がイスラエルに対して忠実であられるなら、聖書にはローマ書 11 章に、神の約束は変えることができないとあります。そこで皆さんに言いたいのは、このようにイスラエルについて捻じ曲げるとんでもない神学に目を向けるのを止めて、ただ物事をありのままに見てください。何百万人という数のユダヤ人が故郷に戻りました。これは現代の奇跡です。だれも説明が出来ないことです。イスラエルの再誕も、死んでいた土地が生き返った事も、誰も説明がつきません。戦争ばかりしている国のただ中にあるこの国が、70 年近く存続し繁栄し、技術や情報、花や野菜や果物を世界中に輸出している、これは物理的にも知識的にも説明するのは不可能です。これが神の御業なのです。聖書には、神がイスラエルのなかで、またイスラエルを通して働かれる時はいつでも、それを通して主が神であることを世界中が目撃するためだと書いてあります。ですから盲目にならず、目を開きましょう、神は中東の中で、イスラエルに対してされていることによって、あなたの目を引こうとされているのです。私が思うに、教会とイスラエルは、神が使っておられる 2 つのラツパで、1948 年以来、主はこのラツパを鳴らし続けておられます。そして、我々も知っている通り、最後のラツパの音と共に、私たちはここを去ります。ラツパの祭りが成就されるのはいつなのか、と言う人がいますが、我々は 1948 年以来、ラツパの祭りの日々の中にいるのです。神は教会を用いておられます。聖書には、民数記 10:2~3 の中で、神がモーセに銀のラツパを 2 本作るように命じたとあります。なぜ 2 本なのか？なぜ銀なのか？なぜラツパなのか？ラツパは人の注意を引くため、銀は尊いが完璧ではなく、2 つというのは、神が 2 つの集団を使われるからです。そして現在は、教会とイスラエルが共存している唯一の時代です。神がそれを用いられるのです。ということで、時がどれほど差し迫っているのかを理解していただければ、と思います。

今は「なぜ我々が存在するか？」ではなく、「我々は備えが出来ているか？」を考える時です。そして、我々キリストの花嫁は、準備が終わり、御霊も花嫁も、主に「来てください」と呼ぶ時期です。主は来られます。イエスはエルサレムに言われました。

39 あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。』

(マタイ 23:39)

ここにパターンが見えますね。神はその子どもたちが求めることを願っておられるのです。尋ね、懇願し、捜し求めて、主に求めることを。

7 求めなさい。そうすれば与えられます。

(マタイ 7:7)

33 だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

(マタイ 6:33)

みなさん、がんばりましょう。もう、ゴールまで来ているのです。あとは花嫁として準備を整え、呼び求めるだけです。テルアビブより、I love you! インドネシアとシンガポールからの素晴らしい人々のツアーが始まりました。総勢 90 人です。ツアーの間に、ライブをするほどの緊張状態が起こらないことを願いますが、もし何かあれば、また facebook ライブで皆さんにお伝えします。そうしている間にも、クリスマスのメッセージ「主が生まれた日」の準備をしながら、新年のメッセージ「御霊も花嫁も言う。『来てください』」を準備中です。

I love you!

Shalom from Israel!

Bye-bye, God bless you all!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO